

腰・首の手術



福岡編

術後痛み軽い 低侵襲手術

病気に別々に医療機関ごとの治療実績を伝える「病院の実力」。今回は、腰や手・脚などの痛みやしびれに対する治療を特集する。

中枢神経の脊髄や枝分かれた神経根が、椎間板や、

背骨をつなぐじん帯などに押されると、腰や脚、腕にしびれや痛みが出る。痛み止めの薬の服用、動きを制限する装具の使用などの「保存療法」が基本だが、

我慢できない強い痛みが長く続いたり、歩行や排便に支障をきたしたりする場合は、原因の圧迫を取り除く手術が必要になる。

読売新聞は9月、整形外科医で作る日本脊椎脊髄病

病院の実力「腰・首の手術」

医療機関別2009年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	手術合計 (件)	低侵襲 ルニア (うち)	腰椎椎間板 ヘルニア (うち)	狭窄 (うち)	頸髄症 (件)
新小文字	470	78(43)	192(84)	200	
福岡市民	240	48(40)	153(41)	39	
久留米大病院(整)	190	26(8)	147(4)	17	
九州中央	188	34(30)	120(90)	34	
九州厚生年金	184	38(36)	107(69)	39	
おおみや整形外科医院	163	51(49)	103(78)	9	
北九州市立医療セ	160	54(50)	79(59)	27	
佐田	154	62(55)	92(84)	0	
九州大	87	15(8)	43(11)	29	
久留米大病院(脳)	73	11(11)	21(17)	41	
かい整形外科医院	53	11(9)	41(2)	1	
古賀21	46	23(22)	10(9)	13	
戸畑共立	38	13(9)	17(16)	8	
福岡輝栄会	30	6(0)	24(0)	0	
福岡リハビリテーション	22	16(2)	6(0)	0	
福岡青洲会	20	8(8)	3(1)	9	
佐賀記念	228	74(72)	130(116)	24	
国・佐賀	85	50(50)	25(10)	10	
唐津赤十字	78	27(23)	30(19)	21	
県立好生館	29	10(0)	13(0)	6	
長崎労災	526	243(211)	199(102)	84	
長崎原爆	185	60(10)	98(1)	27	
菅整形外科	165	75(75)	43(41)	47	
島原整形外科西村ク	85	30(30)	42(42)	13	
上戸町	61	5(5)	40(39)	16	
長崎百合野	51	23(23)	22(18)	6	
貞松	46	19(19)	24(24)	3	
増田整形外科	46	13(8)	33(25)	0	
長崎市立市民	36	3(2)	26(10)	7	
長崎大(脳)	30	2(2)	10(10)	18	
成尾整形外科	581	174(92)	344(29)	63	
熊本中央	366	85(9)	177(0)	104	
熊本整形外科	311	169(143)	132(112)	10	
中村整形外科	268	73(71)	177(85)	18	
国・熊本	115	18(18)	68(0)	29	
九州記念	95	16(16)	68(28)	11	
熊本機能	78	29(0)	33(0)	16	
寺尾	4	1(一)	3(一)	0	
杵築市立山香	393	75(5)	259(0)	59	
大分中央	132	41(38)	86(60)	5	
大分大	65	5(0)	32(0)	28	
大分赤十字	62	9(5)	38(0)	15	
ごとう整形外科	203	119(74)	81(67)	3	
県立宮崎	133	47(0)	60(0)	26	
宮崎大	133	19(14)	76(51)	38	
潤和会記念(脳)	111	24(21)	35(29)	52	
前原	48	22(22)	25(24)	1	
整形外科米盛	287	133(0)	143(0)	11	
南風	284	86(45)	152(0)	46	
やなせ整形外科	130	36(一)	86(一)	8	
わきだ整形外科	78	44(36)	33(32)	1	
整形外科三愛	50	20(20)	27(5)	3	
鹿児島大	44	7(4)	18(0)	19	

「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「国・」は国立病院機構。「一」は無回答または不明。表の件数は、主に整形外科のみ、または同科と脳神経外科との合計件数だが、脳神経外科から個別の回答があった場合は、(脳)(整)と付して区別した。

学会と、脳神経外科医で作る日本脊椎外科学会がそれぞれ認定する専門医のいる計94施設に、2009年度の治療実績をアンケートし、484施設(51%)から回答を得た。

し、腰と首の代

表的な病気である腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊柱管狭窄症、頸髄症の手術数を施設ごとに載せた。また、腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊柱管狭窄症の低侵襲手術数も示した。内視鏡や顕微鏡を使った低侵襲手術は、皮膚を切

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は1月9日「病理医」の予定です。

り開く傷口が通常の半分程度(2〜3cm)で済み、手術後の痛みも軽い長所がある。